

茶園用病虫害クリーナーによるチャ炭疽病対策

[研究のねらいと取り組み]

- ・近年、有機栽培茶の需要が高まっている。一方で、有機栽培では、病虫害の多発により二番茶以降の摘採ができない事例も多く低収量の一因となっている。そのため、有機栽培でも活用できる病虫害防除手段の開発が求められており、茶園用病虫害クリーナー（写真1：以下、茶園クリーナー）を開発した。
- ・茶園クリーナーの送風（物理的防除手段）による、炭疽病の防除効果を明らかにした。



写真1 茶園用病虫害クリーナー（茶園クリーナー）

[研究の成果]

- ・乗用型摘採機の前方に装着した送風ノズルから上向きの送風を行うことで、炭疽病の伝染源となる樹冠中に溜まった炭疽病の発病葉を除去することができる（図1）。
- ・茶園（品種「やぶきた」）において、茶園クリーナーを一番茶期と二番茶期の萌芽期に処理することで、二番茶摘採前の炭疽病の発病が約半減できた（図2）。
- ・一葉期には新葉への炭疽病の感染が始まっていると考えられるため、萌芽期までにクリーナー処理を行い、発病葉を除去することが炭疽病の防除に有効と考えられる。
- ・本機の送風機能を活用し、害虫防除等、用途拡大のための研究を継続している。
- ・本機は県内製茶機械メーカーで製造、販売されている。（令和8年1月9日現在）。



図1 送風による病虫害の回収方法

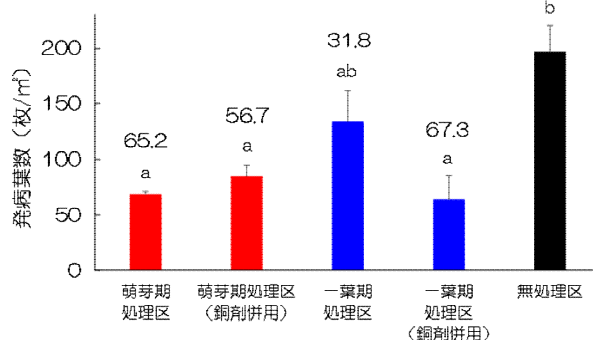


図2 二番茶摘採前における炭疽病発病葉数

- 1) グラフ上の数値は防除価。
- 2) 同符号は Tukey による多重比較により 5%水準で有意差がない。
- 3) 銅剤としてクプロシールド（500 倍）200L/10a 散布。
- 4) 出典：内山道春ら（2025）
茶樹用防除装置と茶樹用防除方法、
特許番号 第 7762904 号

関連URL→

